

「四木」第四集 表題句

河童忌や獲物からむる蜘蛛の糸
秋夕焼天に友禅流しかな
父の日や静かに暮れて爪を切る
風神のなかに怒るや波の花
八棹の櫂のしぶきや春の川
引率は女先生柿若葉
黒塀に節穴ひとつ秋の風
寒月や終着駅のラーメン屋
大根蒔く三本の指操つて
子も孫も巢立ちて余生実万両
花見酒むかし乙女のひばり節
金縷梅や駆込み寺の黒き塀
源流の空に囀満ちにけり
足るを知る思ひ日向の福寿草
絵馬結ぶ子に添ふ母や寒紅梅
白壁を埋める梵字や薄紅葉
牡丹の芽深紅に尖り陽を集む
竹の皮脱ぐや金婚式の来る
翅たたみ蝶の休らふ野紺菊
桑の実や疎開仲間の会絶えて
鏑矢の的射る響き天高し
江ノ電の車窓に触るる若葉かな

廣崎 龍哉
池野ひろし
率川 清昭
石崎 玄舟
大野 耕一
大場 繁好
柏瀬やすし
島村 忠男
清水 豊春
杉村 良月
高橋 尤子
角田のぼる
角田 夏瑚
二山たか志
野木未希男
桧垣 邦夫
増田かつを
宮松 澄連
山口 一江
山本 杖空
山本 達也
米木 達男